

# 平成17年3月期 中間決算短信

平成16年11月8日

・会社名 クラレトレーディング株式会社  
 ・本社所在地 大阪府中央区平野町二丁目5番4号  
 ・代表者 代表取締役社長 牧野 充伸  
 ・問合せ先 総務部長 山口 信義 TEL(06)6226-9140

## 1. 16年9月中間期の業績(平成16年4月1日～平成16年9月30日)

### (1) 経営成績

(注)金額表示は百万円未満切捨による。

	売上高		営業利益		経常利益	
	対前年同期増減率		対前年同期増減率		対前年同期増減率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年9月中間期	57,394	12.7	1,151	41.1	1,118	41.6
15年9月中間期	50,904	6.3	816	13.5	789	13.6
16年3月期	106,689	6.1	1,712	3.6	1,655	3.4

	中間(当期)純利益		1株当たり 中間(当期)純利益		株主資本 当期純利益率	総資本 経常利益率	売上高 経常利益率
	対前年同期増減率		円 銭		%	%	%
	百万円	%	円	銭	%	%	%
16年9月中間期	601	41.4	1,801	51	15.6	5.2	1.9
15年9月中間期	425	60.4	1,289	08	12.7	3.7	1.6
16年3月期	800	83.0	2,425	61	11.5	3.8	1.6

(注)1. 期中平均株式数 15年9月中間期:330,000株  
 16年9月中間期:334,000株

### (2) 配当状況

	1株当たり年間配当金
16年3月期	250 円
15年3月期	200 円
14年3月期	140 円

(注)当社に中間配当制度はありません。

### (3) 財政状態

	総資産	株主資本	株主資本 比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
16年9月中間期	42,805	7,965	18.6	23,849	89
16年3月期	42,395	7,446	17.6	22,295	45
15年9月中間期	40,717	6,865	16.9	20,803	95

## 2. 17年3月期の業績予想(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
通 期	113,000	2,050	2,000	1,000

### 3. 業績の概況

#### <全般的状況>

当中間期における国内景気は、引き続き拡大する中国経済に牽引される形で回復の足取りを強めて来ました。そのような状況の中、当社におきましては化学品・化成品・繊維資材関連が健闘し、以下のとおり、前年同期比増収・増益の業績となりました。

- ・売上高は573億9千4百万円。前年同期比+64億9千万円、+12.7%の増収。売上高構成比では、繊維比率37.1%、化学品・化成品比率62.9%となりました。
- ・営業利益は11億5千1百万円（前年同期比+3億3千5百万円、+41.1%の増加）、経常利益は11億1千8百万円（前年同期比+3億2千8百万円、+41.6%の増加）となりました。
- ・特別損失として在庫処分・評価損6千1百万円を計上しましたが、当期純利益は6億1百万円（前年同期比+1億7千6百万円、+41.4%の増加）となりました。
- ・財務体質は、好調な営業成績と管理水準の向上が寄与し、さらに改善が進みました。自己資本比率18.6%（前期比+1.0%）負債純資産倍率(DER)0.6倍（前期比0.2倍）、長期・短期借入金48億円（前期比14億円、22.3%の減少）となりました。

各カンパニーの概況につきましては、次の通りです。

以下「 」の中の名称は(株)クラレの商標です。

#### <衣料カンパニー>

売上高は67億円。前年同期比7億円、9.0%の減収となりました。

- ・ユニフォームは、市況の好転と製品ビジネスの商量増で増収となりました。
- ・スポーツは、スポーツアパレルならびに学販分野への製品販売で増収を計りましたが、低採算ビジネスの整備等が有ってほぼ横這いとなりました。
- ・カジュアル分野は、紳士向け製品販売の増収はありましたが、婦人テキスタイル縮小等による大幅な減収をカバー出来ませんでした。
- ・当中間期で後ろ向きの方策を終え、下期以降積極的施策を打ち出す地合が固まったものと考えております。

#### <東京衣料カンパニー>

売上高は52億円。前年同期比2億円、3.8%の減収となりました。

- ・ユニフォーム用途は、生地販売から製品ビジネスへの転換が進み増収となりました。
- ・差別化テキスタイル「エルモザ」の販売が大きく伸長し、婦人衣料分野の縮小に歯止めが掛かりました。

#### <資材・化成品カンパニー>

売上高は110億円。前年同期比+18億円、+19.7%の増収となりました（内、マイカ事業移管により約+13億円）。

- ・化学品関連は、エラストマー関連、アクリル製品、耐熱性樹脂「ジェネスタ」が引続き順調に推移しました。
- ・環境資材は、「クラロンK-」の中国向け輸出が売上に寄与しました。

#### <クラリーノ営業カンパニー>

売上高は55億円。前年同期比+14億円、+33.1%の大幅増収となりました。

- ・学童用途及び輸出手袋用途の拡大により大幅増収となりました。
- ・衣料用途も紳士を中心として順調に推移しました。

#### <生活資材カンパニー>

売上高は53億円、前年同期比+12億円、+29.9%の増収となりました。

- ・衣料製品は、大口製品輸入販売、国内製品の取引拡大により大幅増収となりました。
- ・生活資材は、前売りカーテン製品の低迷を靴資材、自動車内装材、カーテン用途の新規受注によりカバーしました。

#### <ポパール・エパールカンパニー>

売上高は114億円。前年同期比+24億円、+26.1%の増収となりました。

- ・ビニロンフィルムは、国内及びアジアにおける液晶市場の旺盛な需要に支えられ大幅増収となりました。
- ・ポパールは、中国市場開拓が実り輸出が大きく伸長しました。
- ・「エパール」は、フィルム国内外包装用途が苦戦しましたが、壁紙用フィルムや樹脂輸出の拡販により増収となりました。

#### <東京資材カンパニー>

売上高は51億円。前年同期比+3億円、+6.9%の増収となりました。

- ・資材製品関連は、不織布製品の業務用カウンタークロス、工業用マスクが好調に推移しました。
- ・産業資材関連は、土木用途が伸び、既存分野の落ち込みをカバーしました。

#### <樹脂・化学品カンパニー>

売上高は65億円。前年同期比+2億円、+3.2%の増収となりました。

- ・アクリル製品は、光学用アクリルがユーザーの在庫調整に直面し苦戦しましたが、シートのアミューズメント関係が好調で、これをカバーしました。
- ・化学品は、導光板用PMMA(\*)の輸出の伸長及び国内販売の値上げにより増収となりました。

(\*)ポリメチルメタアクリレート

#### <KT化工、XAカンパニー>

- ・ベルト事業、放射線防護具事業ともに、新製品の開発及び新規用途の開拓も着実に進み増販しました。

尚、平成16年4月に旧衣料カンパニーは、衣料カンパニーと東京衣料カンパニーに、旧東京営業カンパニーは、東京資材カンパニーと樹脂・化学品カンパニーに分離独立致しました。

#### 4.平成16年度下期経営方針

ようやく景気の回復感が出てきている一方で、銀行の統合問題に関連した不良債権処理や行財政改革問題など先行きは楽観できないものと見ております。当社におきましては、全社挙げて以下の課題にスピーディに対応し、成果を早期に具現化することを目指します。

1. 貿易取扱高の拡大(上海現法の事業基盤確立とアジアの拠点整備)
2. 衣料事業の本格的反攻に向けた施策推進
3. 付加価値ビジネス・クラレグループ以外の商品拡大
4. 銀行債権処理を注視したリスク管理
5. 健全化した財務体質の維持拡大

## 損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間期(第44期) (16.4.1 ~ 16.9.30)	前年中間期(第43期) (15.4.1 ~ 15.9.30)	増 減	前期(第43期) (15.4.1 ~ 16.3.31)
営業収益				
売上高	57,394	50,904	6,490	106,689
営業費用				
売上原価	53,499	47,620	5,878	99,744
(売上総利益)	(3,895)	(3,283)	(611)	(6,945)
販売費及び一般管理費	2,743	2,467	276	5,232
営業利益	1,151	816	335	1,712
営業外収益	46	27	19	55
営業外費用	80	54	26	112
経常利益	1,118	789	328	1,655
特別損失	61	-	61	174
税引前中間(当期)利益	1,056	789	266	1,480
法人税、住民税及び事業税	522	445	77	743
法人税等調整額	67	81	13	63
法人税等計	454	364	90	679
中間(当期)純利益	601	425	176	800
前期繰越利益	1,890	1,181	709	1,181
中間(当期)未処分利益	2,492	1,606	885	1,982

# 貸借対照表

(単位:百万円)

資 産 の 部				
科 目	当中間期 (16.9.30現在)	前 期 (16.3.31現在)	増 減	前年中間期 (15.9.30現在)
(資 産)				
流 動 資 産	41,429	41,166	263	40,005
固 定 資 産	1,375	1,228	146	711
有形固定資産	668	677	9	200
無形固定資産	30	35	5	39
投資その他の資産	676	515	161	471
資 産 合 計	42,805	42,395	409	40,717

負 債 及 び 資 本 の 部				
科 目	当中間期 (16.9.30現在)	前 期 (16.3.31現在)	増 減	前年中間期 (15.9.30現在)
(負 債)				
流 動 負 債	31,891	32,103	212	31,051
固 定 負 債	2,947	2,845	102	2,800
負 債 合 計	34,839	34,948	109	33,851
(資 本)				
資 本 金	2,200	2,200	-	2,000
資 本 剰 余 金	3,059	3,059	-	3,059
利 益 剰 余 金	2,692	2,173	518	1,798
株式等評価差額金	14	13	0	7
資 本 合 計	7,965	7,446	519	6,865
負債及び資本合計	42,805	42,395	409	40,717

## 分野別売上状況他

(1)分野別売上高

(単位:百万円)

		H.16.9月期		H.15.9月期		増 減	
		金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率
繊維	衣 料	11,916	20.8%	12,796	25.1%	880	4.3%
	資 材	9,382	16.3%	7,578	14.9%	1,804	1.4%
	計	21,298	37.1%	20,374	40.0%	924	2.9%
化学品	化学品	23,400	40.8%	20,208	39.7%	3,192	1.1%
化成品	化成品	8,876	15.5%	7,581	14.9%	1,295	0.6%
	その他	3,820	6.7%	2,741	5.4%	1,079	1.3%
	計	36,096	62.9%	30,530	60.0%	5,566	2.9%
合 計		57,394	100.0%	50,904	100.0%	6,490	-

(2)事業所別販売状況

(単位:百万円)

		H.16.9月期		H.15.9月期		増 減	
		金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率
東 京		22,684	39.5%	21,297	41.8%	1,387	2.3%
大 阪		34,710	60.5%	29,607	58.2%	5,103	2.3%
合 計		57,394	100.0%	50,904	100.0%	6,490	-

## 会 社 概 要

会 社 名	クラレトレーディング株式会社		
住 所	大阪市中央区平野町二丁目 5 番 4 号	TEL. 06-6226-9011	
	東京都千代田区大手町一丁目 1 番 3 号	TEL. 03-6701-2000	
代 表 者	牧 野 充 伸		
資 本 金	2 2 億円		
株 主	株式会社 クラレ ( 1 0 0 % 出 資 )		
社 員 数	3 2 7 名 ( 2 0 0 4 年 9 月 3 0 日 現 在 )		
年 商	1 , 0 6 7 億円 ( 2 0 0 4 年 3 月 期 )		
事 業 内 容	衣料関連製品、繊維資材、化学関連製品等のメーカー商社		
事 業 所	本社 大阪事業所 ( 大阪市中央区平野町 ) 本社 大阪事業所別館 ( 大阪市中央区道修町 ) 本社 東京事業所 ( 東京都千代田区大手町 ) 海外 現地法人 可樂麗貿易(上海)有限公司 ( 中国 ) 事務所 台北事務所 ( 台湾 ) 香港事務所 ( 中国 ) ハノイ事務所 ( ベトナム ) ジャカルタ事務所 ( インドネシア ) 岡 山 工 場 ( 岡山県 )		
関 連 会 社	株式会社クラレプランニングシステム ( 日本 ) 南通可樂托蓄服装有限公司 ( 中国 ) 可樂麗魔術粘扣帶(上海)有限公司 ( 中国 ) 上海華展倉庫貿易有限公司 ( 中国 ) 可樂麗亞克力(張家港)有限公司 ( 中国 ) P . T . Indo Bell Garmentama ( インドネシア )		

以 上